

都市再生整備計画事業 事後評価シート

明智地区

平成26年3月

岐阜県恵那市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岐阜県	市町村名	恵那市	地区名	明智地区			面積	680ha			
交付期間	H21 ~ H25年度	事後評価実施時期	H25年度	交付対象事業費	645百万円	国費率	0.4					
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		【地域生活基盤施設】浪漫ひろば等整備、情報案内板設置事業									
	提案事業		【地域創造支援事業】空き家等の活用事業、防火水槽設置事業 【事業活用調査】事業効果検証調査 【まちづくり活動推進事業】ウォーキングコースの設置事業									
	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【道路】①市道2-9号線【高質空間形成施設】②町並み修景整備事業、③河川歩道修景整備事業【高次都市施設】④明智地域交流センター整備事業	①関連事業へ移行 ②住民協議による ③④提案事業へ移行	①③④関連事業又は提案事業への移行であり、指標への影響はない ②指標への軽微な影響があるが、数値指標は据え置く							
新たに追加した事業	提案事業	【地域創造支援事業】⑤明智駅舎整備事業、⑥地域資源活用計画策定【事業活用調査】⑦輸送サービス調査検討事業【まちづくり活動推進事業】⑧大正百年祭事業への支援事業	⑤別提案事業へ統合 ⑥⑦別途検討委員会にて措置 ⑧関連事業へ移行	⑤⑥⑦別事業への移行であり、指標への影響はない ⑧関連事業への移行であり、指標への影響はない								
	基幹事業	【道路】①明智駅前広場整備事業(市道91065号線)、②市道明智町103号線、③市道明智町98号線【地域生活基盤施設】④明智駅前広場整備事業(広場)、⑤ふれあい会館吉良見前広場整備事業、【高質空間形成施設】⑥三宅家トイレ整備事業、⑦明智駅前広場整備事業(トイレ)	①②④交通計画等精査による ③学校要望のため ⑤地域住民合意のため ⑥トイレ不足が判明したため ⑦計画精査による	①②③④⑤⑥⑦指標への軽微な影響があるが、数値指標は据え置く								
提案事業	【地域創造支援事業】⑧明智駅前広場整備事業 明智駅舎付近観光案内・待合施設整備事業、⑨住宅等の修景 大正村景観修景整備事業	⑧計画精査による ⑨住民合意のため	⑧基幹事業からの移行であり、指標への影響はない ⑨指標への軽微な影響があるが、数値指標は据え置く									
交付期間の変更	当初		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	明智町への来客者数	人/年	183,191	H19	167,775	H25	131,185	×	あり なし	道路・鉄道玄関口等の利便性、広場、景観等のアメニティ、イベント他等の観光資源の改善に多面的に取り組み、ある程度効果を出したが、資料館利用者が下げ止まらなかった。これより、全体として明智町への来客者数の減少に歯止めがかからなかった。	H26年7月
	指標2	地区内の居住満足度	%	65.7	H19	65.7	H25	60.5	×	あり なし	道路・駅前整備、空き家等活用、防火水槽設置、ふれあい会館吉良見前広場等の生活環境整備等総合的な取り組みを実施し、課題の解決を図ったものの、指標が包括的な居住継続意向を尋ねるものであったため、事業との関連性が明確でなく、目標を達成することはできなかった。	H27年3月
指標3	まちづくり関係団体によるイベント回数	回/年	16	H19	16	H25	18	○	あり なし	観光来客者数は減少をたどっているものの、浪漫ひろば、ふれあい会館吉良見前広場の整備によりイベントが開催しやすくなった。また、道路整備、明智駅前の観光案内の強化等によりイベント来場者への分かりやすさ、利便性を醸成することができた。これより、自然・歴史・文化を活かし、活気あるまち、元気なまちの目標を達成することができた。	H26年8月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値	目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	資料館を除く明智町への来客者数	人/年	137,448	H19			122,568			大正村の資料館以外では、全体として来客者数が下げ止まっており、にぎわいを目指す目標に対して事業効果が発現した。	H26年7月
	その他の数値指標2	「将来にわたって住み続けたい人の割合」のH20年度との比較	%	53.7	H20			60.5			道路・駅前整備、空き家等活用、防火水槽設置、ふれあい会館吉良見前広場等の生活環境整備等により、H20年度以降、地区内住民の居住満足度は一定程度回復した。これより、自慢できて安心して楽しくさせるまちづくりに貢献できた。	
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	明智駅前プラザにおける地域農産物の直売が始められることにより空き家の活用が生まれ、地域の活性化が見られる											
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等	
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						
	住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					・今後も、恵那市地域自治条例に基づきまちづくり計画策定への住民参加を継続する ・今後も、まちづくりの事業実施プロセスへの住民参加を継続する	
	持続的なまちづくり体制の構築					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					今後も、恵那市地域自治条例に基づく地域協議会、まちづくりフォーラム活動を継続する	

様式2-2 地区の概要

明智地区(岐阜県恵那市) 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標: 自然・歴史・文化を活かし、住民や来訪者が安心して楽しくすごせるまちづくり 目標1 来訪者の増加を図り、にぎわいを目指す。 目標2 自然・歴史・文化を活かし、活気あるまち、元気なまちを目指す。 目標3 住民自らがまちづくりに参加し、心が通い、笑顔の見えるまち、住み続けたい安全なまちを目指す。		明智町への来客者数	単位: 人/年	183,191	H19	167,775	H25	131,185	H25
		地区内の居住満足度	単位: %	65.7	H19	65.7	H25	60.5	H25
		まちづくり関係団体によるイベント回数	単位: 回/年	16	H19	16	H25	18	H25
		資料館を除く明智町への来客数	単位: 人/年	137,448	H19			122,568	H25
		「将来にわたって住み続けたい人の割合」のH20年度との比較	単位: %	53.7	H20			60.5	H25
		<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>道路 市道明智町98号線 地域生活基盤施設 ふれあい会館吉良見前広場整備事業</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>まちづくり活動推進事業 ウォーキングコース設置事業</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>道路整備 市道明智町103号線 地域生活基盤施設 浪漫ひろば等整備</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>地域創造支援事業 明智駅前広場整備事業(待合) 地域創造支援事業 防火水槽設置事業</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>道路 明智駅前広場整備事業(市道91065号線) 地域生活基盤施設 明智駅前広場 高質空間形成施設 明智駅前広場整備事業(トイレ)</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>高質空間形成施設 三宅家トイレ整備事業</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>地域創造支援事業 住宅等の修景、空き家等の活用事業</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>事業活用調査 事業効果検証調査</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>地域生活基盤施設 情報案内板設置事業</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>大正村百年祭事業 明智町まちづくり団体開催イベント 大正百年祭事業への支援事業 道路 市道2-9号線 市道明智町98号線</p> </div> </div>							
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none"> 生活者・来訪者にとって快適に楽しめる空間への改善を図ることができた まちづくり関係団体、地元検討会等、住民参加により、自然、歴史、文化、産業を活かした環境整備を進めることができた 道路、駅前広場関連、防火水槽等の整備により、生活者の利便性、安全性を改善することができた 							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> 整備した施設や環境について、住民組織やまちづくり関係団体等の参加による維持管理や利活用を促していく さらに、新しい資源の有機的な連繋を進めていく 住民による防災活動を継続する 観光に関して来客数の減少に歯止めをかけるため、ハード面整備に組み合わせて、イベントの強化や観光客誘致の仕組みの強化を図る 長期的な課題である若者が定住する環境、青少年育成、世代間交流に取り組む検討体制を設置する 							